CASIO

P

DQL-200J

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社
〒151-8543　東京都渋谷区本町 1-6-2

本機の特長

● 電波時計（国内 2 局対応自動選局機能付）
福島県「おおたかどや山」（40kHz）
佐賀県と福岡県の境「はがね山」（60kHz）

● 電波受信機能のオン／オフ切り替え

● センサーにより、温度・湿度を表示

● 生活環境お知らせ機能

● アラーム／スヌーズアラーム（一度止めても再び鳴ります）

ご使用上の注意

● 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさけてください。

● 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光の当たる所では使用しないでください。

● 浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。

● 以下のようなところに本機を置くことは避けてください。
- テレビの上など（テレビ画面に色むらが起こる場合があります）
- 時計、キャッシュカード、フロッピーディスク、プリペイドカード、カセットテープの近くなど

● 極度の静電気により誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。

● 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

● 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。

● 汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。

● 液晶表示は、使用温度範囲（0℃～40℃）を超えると、表示が見にくくなることがあります。

● 液晶表示は、見る方向によって表示が見にくくなることがあります。

● 本機が受信できる電波は「日本の標準電波だけ」です。ただし、日本以外の地域で使用している場合でも、まれに日本の標準電波を受信して自動的に日本の時刻に修正することがあります。日本以外の地域でご使用になる場合は、本機の電波受信機能をオフ（電波を受信しない状態）にしてください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⦸ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてけがや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 極性（⊕ と ⊖ の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬけがをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

電波時計について

電波時計とは

正確な時刻情報 [日本標準時] をのせた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」などにより制御されています。

標準電波を正しく受信した場合でも、時計内部の時刻演算処理などによって時刻を表示するまでに 1 秒未満のずれが生じます。

標準電波

標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県の「おおたかどや山」（40kHz）および佐賀県と福岡県の境の「はがね山」（60kHz）から送信されています。この標準電波はほぼ 24 時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策などで一時送信が中断されることもあります。

電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ 1000km 離れた場所でも受信することができます。
- ただし、約 500km を超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
- 受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼／夜）などによって受信できないことがあります。
- 電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。
- 一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

1000km
おおたかどや山
（40kHz）
500km
はがね山
（60kHz）
500km
1000km

電波受信について

本機は「おおたかどや山」（40kHz）と「はがね山」（60kHz）の 2 局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行います（自動選局機能）。通常は毎日、電波受信を自動的に行います（自動受信）。

使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。
右記のような場所では、電波を受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中およびその周辺（ビルの谷間など）
- ただし、窓際で使用すると受信しやすくなります。

高圧線、架線の近く

乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

家庭電化製品、OA機器のそば、金属板の上（テレビ、スピーカー、FAX、パソコン、携帯電話など）

電波障害の起きるところ（工事現場、空港のそば、交通量の多いところなど）

山の裏側…など

正しく電波受信するために

- 電波受信できる場所でお使いください（「使用場所について」参照）。
- 本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。
- 受信中（受信インジケーター表示中）に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。
- ボタン操作で現在時刻を修正すると、以後 24 時間自動受信は行いません。ただし、この間に手動受信を行うと、その時点で自動受信禁止を解除します。
- 電波受信を行わない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。
- 電波の自動受信は、1 日 7 回（午前 2:01 ／午前 3:01 ／午前 6:01 ／午前 10:01 ／午後 2:01 ／午後 6:01 ／午後 10:01）行います。
- ただし、下記の場合は、自動受信は行いません。
  - アラームがオンまたはスヌーズになっている
    設定している「アラーム時刻と同じ時刻台」の自動受信は行いません
    例：アラームがオンでアラーム時刻を午前 6 時 15 分に設定しているときは、午前 6 時 1 分の自動受信は行いません
  - 時刻／カレンダーの「セット状態」になっている
  - アラーム時刻の「セット状態」になっている
  - ライト点灯中
  - 電波受信機能をオフにしている

最も受信しやすい設置のしかた
（・時計表示部または裏面を電波送信所に向かい合うようにする
・金属板の上などを避けて窓際で行う）

送信所

電源に関するご注意

● 電池の残量が残っている場合でも 1 年に 1 回は全部の電池を交換してください。

● 電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。
- 誤動作（時刻やアラームなどのリセット、報音の停止、時刻狂いなど）することがあります。
- 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
- アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。

● 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。

● お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池 * のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
＊ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

● 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

表示内容：カレンダー表示（月・日・曜日）
時刻表示（時･分･秒）、午後マーク／ 24 時間制表示（24H）、アラーム時刻、温度表示、湿度表示

電波受信機能：自動受信（7 回／日 *）、手動受信
* 受信開始時刻＝午前 2:01 ／午前 3:01 ／午前 6:01 ／午前 10:01 ／午後 2:01 ／午後 6:01 ／午後 10:01
自動選局機能
[受信電波＝長波標準電波　JJY
周波数＝ 40kHz ／ 60kHz]

精度：電波受信による時刻修正が行えない場合は、平均月差± 30 秒以内

温度計測機能：計測範囲＝0℃～ 40℃ *1
計測精度＝± 2℃（0℃～ 40℃）*2
- 1 分に 1 回計測します。*3

湿度計測機能：計測範囲＝10%～ 90%
（0℃～ 49.9℃において結果表示）*4
計測精度＝± 10%（5 ～ 40℃、10 ～ 90%）
（例　湿度 50%の場合、40%～ 60%となります）*2
- 1 分に 1 回計測します。*3

アラーム機能：セット単位＝分、報音時間＝ 1 分間
電子音アラーム＝通常アラーム
スヌーズアラーム（約 5 分おきに、最大で 7 回報音）
デモアラーム（アラーム音の試聴）

生活環境お知らせ機能：お知らせアイコン

その他：12 ／ 24 時間制表示切り替え、コントラスト調整、LED ライト（通常ライト）、フルオートカレンダー

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI

使用温度：0℃～ 40℃

使用電池：単 3 形マンガン乾電池（R6P）　2 個

電池寿命：約 1 年（電波受信 7 回／日、ライト 5 秒間／日、アラーム報音 1 分／日使用した場合）

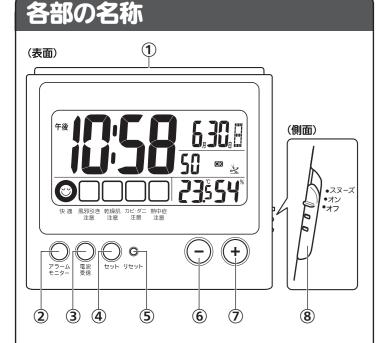
*1 ＝ • − 0.1℃以下、40.1℃以上でも温度計測を行いますが、本機の温度保証範囲外となります。
• − 20℃以下は“LO”表示、50℃以上は“HI”表示となります。

*2 ＝ 温度･湿度表示は時計に内蔵されているセンサーにより、時計内部の温度･湿度を計測／表示するものです。そのため、急激な変化が起きても、その温度や湿度を表示するまで（時計内部がその温度や湿度と同じになるまで）約 30 分程度かかります。なお、計測機能上、本機を冷・暖房器具の送風口の近くで使用しないでください。

*3 ＝ 電波受信中、カレンダーや時刻などのセット中は、計測を中断します。

*4 ＝ • 9%以下は“LO”表示、91%以上は“HI”表示となります。
• 湿度表示は温度が 0℃～ 49.9℃の範囲外では“−−”表示となります。

Printed in China
MA1306-A

各部の名称

本書の記載	説明
①【スヌーズ／ライト】	• ライトを点灯するときに押します。約5秒間ライトが点灯します。 • アラーム報音中に、音を止めるときに押します。
②【アラームモニター】	アラームの音を試聴するときに押します。
③【電波受信】	すぐに電波を受信したいときに押します。
④【セット】	時刻を合わせるときや、設定項目を選ぶときに押します。
⑤【リセット】	電池を入れたとき(電池交換後も含む)に押します。正常に動作するように、時計を初期状態に戻します。 • 押しづらい場合は、先端の細いもので押してください。
⑥【－】	時刻や設定を変更するときに押します。
⑦【＋】	時刻や設定を変更するときに押します。
⑧ アラーム【スヌーズ／オン／オフ】スイッチ	アラームの設定をオン、オフまたはスヌーズに切り替えるときに使います。

本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なることがあります。

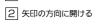
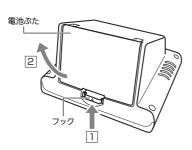
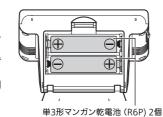
表示について

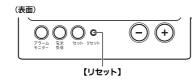
はじめてご使用になるときは

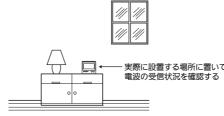
❶ 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはがします。

❷ 電池ぶたを開けます。

❸ 電池を入れます。

重要

- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

❹ 電池ぶたを閉めます。

❺【リセット】を細い棒などで押します（リセット操作）。

- 時計が「午後 12:00 00」から動き始めます。
- すでに時計が動いていても、リセット操作を行ってください。

❻ 時計を設置する場所に置きます。

- 「午後 12:01 00」になると、自動的に電波受信が始まります。受信動作中は、受信インジケーターが点灯／消灯します。
- 置いた場所が電波受信しやすいかどうかを受信インジケーターで確認します。

受信しにくい　受信しやすい

- 電波受信が終了するまで時計に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約 14 分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

❼ 時計を設置する場所で、電波を受信できるかどうかを確認します。

≪電波を受信できたとき≫

現在の年月日と時刻に修正し、“OK”マークと“ ”マークが点灯します。

- ご使用中も、“OK”マークや“ ”マークの点灯状況を参考にして、電波の受信状況を確認してください。

≪電波を受信できなかったとき≫

年月日や時刻を修正しません。“OK”マークと“ ”マークは点灯しません。

- 「電波を受信できないときは」をご覧ください。

ボタンを押して電波を受信する

「すぐに時刻を合わせたいとき」など、必要なときにボタンを押して電波を受信します。

❶ 時計を置きます。

❷【電波受信】を押すと、受信を開始します。

注意

- 電波受信が終了するまで、時計に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約 14 分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

❸ 電波を受信できたかどうかを確認します。

時計の設置場所を変更したときは

新しい設置場所でボタンを操作して電波受信を行い（「ボタンを押して電波を受信する」参照）、電波の受信状況（電波の届きかた）を確認してください。

電池を交換する

「はじめてご使用になるときは」の手順 2 ～ 7 を行ってください。

電波を受信できないときは

一昼夜、その場所においておく

昼間は電波が受信できなかった場所でも、夜間には受信できることがあります。
電波の状況は、周囲の地形や建物、季節、天候、時間帯（昼／夜）などで変化します（「電波時計について」参照）。
時計が電波を受信できるか、受信できないかは、その電波状況の変化に影響を受けます。

定期的に、電波を受信できる場所で電波受信をする

定期的に、窓際などの電波を受信できる場所に時計を持っていき、ボタンを押して電波を受信します（「ボタンを押して電波を受信する」参照）。
電波を受信した後、設置場所に戻します。

電波受信は行わず、ボタン操作で時刻などを修正する

電波受信は行わずに、ボタン操作で時刻などを修正します（「ボタンを押して時刻などを修正する」参照）。
この場合の時計の精度は、「製品仕様」に記載している「電波受信による時刻修正が行えない場合」の精度になります。

設置する場所を変更する

時計の設置場所を、電波を受信できる場所に変更します。
変更後、ボタンを押して電波受信を行い、新しい設置場所で電波を受信できるかどうかを確認してください（「ボタンを押して電波を受信する」参照）。

ボタンを押して時刻などを修正する

「電波が受信できないとき」などに、ボタンを押して時刻を修正します。

❶【セット】を押して、時刻などを修正する状態（セット状態）にします。

修正できる項目が点滅します。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的に<通常表示>に戻ります。

❷【セット】を押して、修正する項目を選びます。

【セット】を押すごとに、下記の順で修正できる項目が切り替わります。

<通常表示>

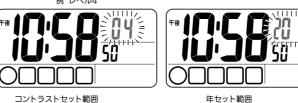
例　2013年 6月30日　日曜日
午後10時58分50秒（12時間制表示）

<コントラストセット表示>
例 レベル4

<年セット表示>

コントラストセット範囲
01（淡い）←･･･ 04 ･･･→10（濃い）

年セット範囲
2000年～2099年まで

【セット】

<12/24時間制セット表示>

<月・日セット表示>

24時間制：24H

曜日自動計算機能付き
フルオートカレンダー

<時刻セット表示>

【セット】　【セット】

❸【＋】または【－】を押して、年月日や時刻などを修正します。

<年セット表示>、<月日セット表示>、<時刻セット表示>のとき

- 【＋】を押す：点滅個所の数字が進みます。
- 【－】を押す：点滅個所の数字が戻ります。
- ボタンを押し続けると早送り／早戻しができます。

<時刻セット表示>のとき

- ボタンを押して分を進めた（戻した）タイミングで、「00」秒からスタートします。

< 12 ／ 24 時間制セット表示>のとき

- 【＋】または【－】を押すごとに、時刻の表示方法（12 時間制／ 24 時間制）が切り替わります。
- 12 時間制　午前 10:00 → 10:00　午後 10:00 → 午後 10:00
  午後の時刻を表示しているときは“午後”マークが点灯します。
- 24 時間制　午前 10:00 → 10:00　午後 10:00 → 22:00
  “24H”マークが点灯します。

❹【セット】を押して、〈通常表示〉に戻します。

表示の濃さを見やすく調整する

上記手順 2 で<コントラストセット表示>を選んで調整します。

- 【＋】を押す：表示濃度が濃くなります。
- 【－】を押す：表示濃度が淡くなります。

アラームを使う

毎日、同じ時刻にアラーム音を鳴らすことができます。1 分間だけ鳴るアラームと、止めても繰り返し鳴る「スヌーズアラーム」を選ぶことができます。

アラーム時刻を設定する

❶【＋】または【－】を押して、アラーム時刻を設定する状態（セット状態）にします。

アラーム時刻が点滅します。

- セット状態で約 5 秒間何も操作を行わないと、自動的に元の画面に戻ります。

❷【＋】または【－】を押して、アラーム時刻を設定します。

【＋】を押す：時刻が進みます。
【－】を押す：時刻が戻ります。

- 約 5 秒間何も操作を行わないと、自動的に元の画面に戻ります。

参考

- ボタンを押し続けると早送り／早戻しができます。
- 電波受信中に【＋】または【－】を押すと、電波受信は中断されます。

アラームの設定を切り替える

アラーム【スヌーズ／オン／オフ】スイッチで切り替えます。

デジタル表示部とスイッチの位置	鳴り方
スヌーズ (((SNZ)))	アラーム時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。 なお、**【スヌーズ／ライト】**を押してアラーム音を止めても、約 5 分おきにアラーム音が鳴ります。 この動作を最大で 7 回繰り返します。 • “SNZ”マーク（スヌーズマーク）が点滅しているときは、アラーム音が再び鳴ります（スヌーズアラーム機能中）。なお、スヌーズアラーム機能中は、**【スヌーズ／ライト】**、**アラーム【スヌーズ／オン／オフ】スイッチ**、**【リセット】**のみ使用できます。
オン ((( )))	アラーム時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。
オフ	アラーム時刻になってもアラーム音は鳴りません。

注意

- アラーム音は 1 分間に 5 段階で変化します。
- アラームをオンまたはスヌーズに設定すると、表示がアラーム時刻を設定する状態（セット状態）に切り替わります。5 秒後に<アラーム時刻表示>に切り替わります。
- アラームをオフに設定すると、<通常表示>に戻ります（アラームは鳴りません）。

アラーム音の操作をする

アラーム音を止める	**【スヌーズ／ライト】**を押す
アラーム、スヌーズアラーム機能を解除する	**アラーム【スヌーズ／オン／オフ】スイッチ**をオフに設定する
アラーム音をためしに聞く	**【アラームモニター】**を押す • もう一度押すと止まる

温度・湿度の表示と「生活環境お知らせ機能」

温度と湿度の計測データをもとにお部屋の状態を分析して、5 つのアイコンでお知らせします。注意が必要な環境になると、4 種類の注意アイコンが点灯または点滅して、注意のレベルを 2 段階でお知らせします。

アイコン点灯 → 注意
アイコン点滅 → さらに注意

計測機能について
専門的な計測器ではありません。特に湿度計測につきましては、環境温度によって精度に開きがあります。計測機能は、目安としてお使いください。

注意

- アイコンは、手動で点灯／消灯できません。各アイコンの設定範囲から外れると、自動的に消灯します。
- アイコンが何も点灯しない場合があります（快適とはいえないが、注意アイコンは点灯しない環境です）。

各アイコンの意味と説明

アイコン	意味	説明
	快適な状態	原則として、温度 20 ～ 28℃・湿度 40 ～ 60% の範囲のとき、点灯します。ただし、注意アイコンが点灯する環境では消灯します。
	“風邪引き”注意	風邪ウィルスが活性化しやすい環境のとき、点灯します。
	“乾燥肌”注意	肌乾燥（荒れ）に注意が必要な環境のとき、点灯します。
	“カビ・ダニ”注意	カビ・ダニが発生しやすい環境のとき、点灯します。
	“熱中症”注意	熱中症になりやすい環境のとき、点灯します。

- お知らせアイコンは、一般財団法人 日本気象協会との共同企画で開発しております。
- 一般財団法人 日本気象協会では生活に密着した気象情報を提供しております。詳しくはホームページ http://tenki.jp/ をご覧ください。
- ご使用にあたってはあくまで目安としてご使用ください（各お知らせアイコンが点灯または消灯していても安全性を保証するものではありません）。
- 万一、本機能により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社同様一般財団法人 日本気象協会でも一切その責任を負えません。ご使用の際は利用者の責任においてご使用ください。

電波受信機能のオン／オフを切り替える

● 電波受信機能を解除するときは、通常表示のときに**【電波受信】**を 8 秒以上押し続けます。

- “受信オフ”マークが点灯します。

● 電波受信機能を使うときは、通常表示のときに**【電波受信】**を 8 秒以上押し続けます。

- “受信オフ”マークが消灯します。

注意

- “受信オフ”マークが点灯しているときは、電波受信による日付・時刻合わせを行いません。「ボタンを押して時刻などを修正する」を参照して、手動で設定してください。